

## 特定外来生物“ナガエツルノゲイトウ” 協働駆除作戦

令和元年6月8日（土）、印旛沼流域水循環健全化会議の取り組みによる「令和元年度第1回桑納川（かんのうがわ）ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦」が、千葉県八千代市の新川（印旛疎水路上流部）へ流入する桑納川河口周辺にて、国、県及び市の行政、東邦大学、中央学院大学、環境パートナーシップちば、NPO法人「国際ボランティア学生協会」（大学生27人）、水資源機構等が協働し、総勢約100人の参加により開催されました。

水資源機構千葉用水総合管理所からは13人が参加し、陸上・船上からの駆除及び駆除したナガエの軽トラックによる回収を行いました。



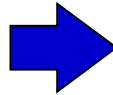
陸上・船上からの駆除



ナガエの回収（駆除の成果）



駆除前



駆除後

この取り組みは、平成27年度から毎年実施しており、その効果により、今回の区域ではナガエの大きな群落を目にすることが少なくなりました。しかし、両岸には、大きな群落になる前の小さな群落が点在している状況で、これらを放置しておくと再び大きな群落を形成してしまいます。

ナガエの群落が洪水排水時の大和田機場に流れ着くと、排水量を減じたり、最悪の場合にはポンプ運転を停止して排水をストップさせなければならなくなり、印旛沼周辺地域が浸水する恐れが増します。

新川、印旛沼及び流入河川には、まだ多くのナガエの群落が存在しています。

ナガエが増殖することにより、浸水被害発生リスクが増すことを、印旛沼周辺地域に暮らす市民の皆さんに認識していただき、この取り組みが多数の市民の皆さんの参加のもと遂行されることを願います。

当日の駆除の様子は、6月22日（土曜日）の「ウィークリー千葉県 ちばの旬な話題をお届け（チバテレビ）」で放送予定です。ぜひご覧ください。